



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.37 2005.5.18(No.2364)

第2560地区ガバナー / 横山 芳郎
会 長 / 渡 邊 喜 彦
会長エレクト / 小 越 憲 泰(クラブ奉仕A)
副 会 長 / 渡 辺 勝 利(クラブ奉仕B)
幹 事 / 五十嵐 寿一
S A A / 船 越 正 夫
会 計 / 荻根澤 隆雄

例会日 / 毎週水曜日 12:30 ~
例会場及び事務局 /
三條市旭町2-5-10 三條信用金庫本店内
例会場 / TEL 34-3311
事務局 / TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-ss@web-niigata.ne.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(~はshiftを押しながらかへ”のキーを
押ししてください)

本日の出席会員数:66名中41名
先々週出席率:82.54%

【先週のメイクアップ】

- [5.11] 新井RCへ
・加藤紋次郎さん
- [5.13] 吉田RCへ
・加藤紋次郎さん
- [5.14] 越後春日山RC10周年へ
・五十嵐寿一さん、佐野勝榮さん
・杉山幸英さん、船越正夫さん
- [5.17] 三條北RCへ
・五十嵐昭一さん



「ロータリーを祝おう 100年の歩み」
2004~2005年度国際ロータリーのテーマ



白藤

会長エレクト挨拶

小越憲泰会長エレクト

今月の第1週は休日で、先週は旬例会でしたので今日が実質上の第1例会になります。



先週の旬例会は親睦委員会の主幹で大湯温泉の湯元館で行われました。山菜づくしの美味しい料理を腹いっぱい満喫いたしました。そして宴席や帰りのバスのなか

での忌憚のない話は仕事の疲れを癒してくれる本当に楽しいものでした。

当日の参加者は少なかったのですが、ロータリーは参加することに意義があるのだと一人納得いたしました。親睦委員会の皆様ご苦労様でした。

この15日は新装なった八幡宮での大祭も天候に恵まれたこともあって、近年まれにない程の賑わいでした。また、聞く所によると八幡宮の工事期間中、執り行われた神事は全て天候に恵まれたそうです。これも全て神様の御加護と感謝しなければなりません。

この度の工事に関して当クラブの多くの皆様が関与されておられました。特に捧先輩・熊倉先輩・斎藤先輩には感謝申し上げます。

今日はこの後、例会セレモニーがありますので、これで会長代理の挨拶を終わりにさせていただきます。

幹事報告

五十嵐寿一幹事

新津RCより50周年式典ご出席お礼状がとどいております。

委員会よりご案内

社会奉仕委員会より

槻の森運動公園のサクラの木の囲い、草刈を致しますので、ご協力をお願い致します。

とき 6月19日(日) AM 6:30 ~

ところ 槻の森運動公園

持参 カマ、軍手

草刈機をお持ちの方は、是非お持ち下さい。

ニコニコBOX

小越憲泰さん

今日は会長代理とクラブフォーラム担当です。
よろしく願い致します。

捧 賢一さん

三条八幡宮再建奉賛会で竣工になりました神殿で大祭が行われました。お祝い致します。

広岡豊作さん

新しい八幡様のお祭り、若者が楽しそうだったのが何よりです。先日、ファイヤーサイドミーティングご利用頂きまして有難うございました。

船越正夫さん

親睦委員会様、グルメ例会ではお世話になりました。

外山雅也さん

社会奉仕委員会と親睦委員会の方々にお世話になり有難うございました。

杉山幸英さん

先日の“大湯温泉山菜を味わう会”に多数のご参加を頂きまして有難うございました。

斎藤弘文さん

三条八幡宮春季大祭「大名行列」も近年になく盛大に行われました。

小出子恵出さん

先週の大湯温泉山菜吟味例会は、楽しませてもらい、ありがとうございました。

藤田紘一さん

先日、地区協議会に出席致しました。基調講演等でよい話をお聞きしてきました。

会田二郎さん

毎日毎日、楽しく感謝の日々です。おかげさまで、ありがたいことです。

石塚欣司さん

5月11日の山菜づくし夜例会は、大変楽しく過ごさせていただきました。

松永一義さん

すごく、良いことがありました。

荻根澤隆雄さん

連休に米沢の姥湯温泉露天風呂に入って来ました。標高1,250M、絶景、正真正銘の混浴です。

若槻八十彦さん

おかげ様で、結婚以来、足かけ30年を迎えました。

石月良典さん

4歳の娘が週末にかぜで入院していたのですが、昨日、無事退院してきました。小さな手に点滴のあとがかわいそうでしたが、今はケロッとして元気です。

菊池 渉さん

いろいろな所で「山菜が食べたい!」と大声で申してありましたら、いろいろな方のお陰で、いろいろな山菜を食べることができました。ありがとうございました。

5月18日分 ￥ 23,000

今年度累計 ￥ 910,000

新会員紹介



名前 後藤 隆夫
生年月日 S21. 2 .16
会社名 三条商工会議所
専務理事
会社住所 三条市須頃 1 -20
趣味 ゴルフ

クラブフォーラム

「地区協議会 報告書」

会長エレクト 小越憲泰会員

期日 2005年5月8日(日)

会場 ホテルオークラ新潟

5月8日、ホテルオークラ新潟で行われた地区協議会の報告をさせていただきます。当日は当クラブから藤田パストガバナーを含めて11名が出席致しました。私の後で当日出席した皆さんから、それぞれの感想を話してもらおう予定です。

当日は朝10時の開会宣言に始まり夕方の4時40分までの本当に中身の濃い勉強会でした。まず神成ガバナーエレクトから2月にアナハイムで行われた国際協議会の報告が丁寧に行われました。

カール・ペイルヘルム・ステンハマー RI 会長の2005-06年度のRIテーマは「超我の奉仕」と発表されました。そして継続性の大切さと、水保全と識字率向上が強調事項に掲げられ、新しい事項として、ロータリーが社会から分かり易いよう、公共イメージを高めるよう要請されました。

地区運営方針として主体はクラブであり、地区はサポーターであると神成ガバナーエレクトは強調されておられました。

続いて基調講演があり、講師は昨年の地区協議会に引き続き、国際ロータリー第2680地区田中毅パストガバナーが務められました。

田中パストガバナーの講演のなかで記憶に強く残っている部分を紹介致します。

シカゴの36歳の弁護士ポール・ハリスを中心として1905年2月23日にシカゴ・ロータリークラブが発足しました。「定例の会合」「一人一業種制」が原則でした。発足当初はお互いに親睦を深めていた社交クラブの内に、やがて会員の事業にお互いが利便を図り合う「相互扶助」の考え方が発生して来ました。ロータリー運動は将にエゴイズムの中から出発したのです。

会員の事業上の利益の向上を図る為に会員同士の事業上の相互扶助が活性化され、やがて、それは積極的な「互惠取引」に発展して行きました。当時(1906年)のシカゴ・クラブのパンフレットには、会員になることに因って事業上のメリットが得られることが明記され、会員が商品や原材料を購入する時には、会員相互の取引を義務づけ、更に原価で提供することが原則とされていきました。会員相互で商品や原材料を原価で取引して、それを一般の人に売って大きな利潤を上げるのですから、こんな効率的な話はありません。この制度は会員の事

業に大きな経済効果を生み出し、零細な企業主でもロータリークラブに入会すれば必ず事業は拡大し、大金持ちになるとさえ言われました。

然し、身勝手なことが何時までも続く道理がなく、こうした行為に対する一般の人から非難が高まり、シカゴ・クラブの定款に対社会的な行動に関する項目が付け加えられ、初めて「奉仕」という概念が芽生えることになりました。そしてその後、様々に紆余曲折しながらRIの現在の状況に落ち着いたということを示されながらきめ細かに解説されました。ロータリー発足当時のドロドロした裏舞台を覗き見たような気持ちになりました。

例会についての話がありました。ロータリーの例会は能率よく集まる為に食事するという歴史的事実から慣習化したものであり、食事抜きは外国ではさほど珍しいものでないそうです。アメリカでは10ドルから20ドル払って各自がめいめい好みの食券を購入するのが通例であり、むしろ食事費込みで会費を徴収することが普通になっている日本のロータリークラブの運営方式が例外だそうです。

ロータリーの正式な会合は例会であり、クラブ協議会・IM・地区協議会・国際協議会等がこれに次ぐ重要な会合と位置付けられておりました。例会の目的は職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の持続性を学び、友情を深め自己改善を計ることにあり、その結果として奉仕の精神の心が育まれてきます。自己改善は終生続けられるべきで、ロータリーアンには定年はないし、ロータリー運動には終結もありません。例会出席がロータリー・ライフの前提となる所以がここにあると言っておられました。

更にクラブ会長の責務として以下のことを言うておられました。

- ・クラブの代表者、象徴的存在。
 - ・理念の提案者として、クラブ独自のテーマを掲げることができる。
 - ・会長のリーダーシップによってクラブは活性化する。
- まだまだロータリーに関する多方面に渡る話がありましたが、時間の都合上割愛させていただきます。それにしても田中パストガバナーの見識には時間の経つのも忘れる程でした。

この後、昼食を挟んで午後から各委員長の運営方針の発表がありました。それらについては当日出席の皆さんから説明して頂きます。

以上で地区協議会の報告とさせていただきます。

職業奉仕委員長



藤田紘一委員長

田中パストガバナーの話が大変印象的でした。

職業奉仕は他に利益をもたらすことが経営の基本である。職業奉仕は金もうけではない、社会に奉仕するために存在して、多く奉仕した者が多くの利益を得ることになる。

そして、時代の推移で産業構造の変化が進むなかで、そういうことに関与し、継続、存続する職業人であるように、我々が常に心しなければならぬ。

社会奉仕委員長



川瀬康裕委員長

私は地区協議会の意味がよく分からず、昨年も参加していましたが、今日の参加で、アナハイムでガバナーが国際協議会で研修され、その他地区リーダーの研修があって、会長の研修会があり、それ等の基で我々委員長の地区協議会があって、その内容を報告するのがフォーラムだと理解できました。

今年度のRI会長のテーマは「超我の奉仕」で、強調する継続テーマは、水質の保全と識字率の向上で、新しいテーマは、ロータリーの会費イメージの改善と女性会員の増強です。

水保全については、世界で10億の人が不潔な水を飲んでおり、1日6,000人の人が亡くなっている状態で、重要テーマにしたい。

識字率の向上は、わけても、女性の識字率の向上の重要と早婚が良く理解できなかったのですが、地球人口が65億人あって、毎年8,000万人の人口が増加しているそうです。20年後には、人口は80億人となり、人口を抑制するのは、識字率の向上だそうです。文字を知らない女性は生涯8人位出産するそうです。けれど教育を受けると産むのは1.5人に下がるそうです。そこで「ハハア」と改めて気付きました。

ロータリーの会費イメージの向上は、ロータリーは世界最大のNPOだそうです。

社会奉仕はこの地域では、中越大震災に関連して力を入れたいとお話でした。

広報雑誌及びクラブ資料委員長



石塚欣司委員長

初めての参加で、気を引き締めて参りました。地区委員長は新潟北ロータリークラブの遠藤さんでしたが、時間がないと1~2分で話は終わりました。頂いた資料によりますと、地区にはお手伝いしますが、主人公はあくまでも会員であり、クラブであるとのことでした。

その中で次期RI会長の「ロータリーの公共性を高めよう」という部分が広報の仕事でないかと思っています。

次年度の委員一同ご協力をお願いする次第であります。

田中パストガバナーには驚きました。ロータリーに入れ込んで、こんなに調べて知っている人はいたかと。

たとえば、前のテーマはこうで、今回のテーマは決議されていないとか、どうしてですかとお聞きしたら、疑問に思ったらアナハイムの資料を見て調べると言われました。

そこまでできるかと、田中さんは眼科のお医者さんですが、私の目からウロコを落としてもらいました。

新世代奉仕ローターアクト並びにライラ委員長



石月良典委員長

新世代奉仕の委員長の話のなかで、2点お話しいたします。

新世代委員会委員長として参加させていただきました。ローターアクトは県内13クラブにあり、より多くのクラブに提唱していただきたいということでした。三条もアクトは人数が14人ですが、今後卒業で会員数が減少しますので皆様の積極的なご支援よろしくお願ひします。

さらにライラ研修は9月18日から3日間グリーンピア津南で行われますのでよろしくお願ひします。

もう一つ印象深かったのは、講師の田中毅さんのお話でした。RIの会長エレクトは「超我の奉仕」Service above selfといわれていますが、ロータリーには二つのモットーがあり、その一つが今回の「超我の奉仕」でもう一つは「職業奉仕」です。英語でこれはHe profits most who serves best.ということで、「最も多く社会に奉仕した者が、最も多くの利益を得る。」という意味だそうです。皆様にはもうお分かりのことなのでしょうが、私としては、自分の経営と照らし合わせ、とても意義深く聞かせていただきました。

次週例会 6月1日 外部卓話 卓話企画室ズーム 関根 聡様

次々週例会 6月8日 外部卓話 ノジコの会 代表 関根衣智朗様